

【栃木県から世界へ！ JICA 海外協力隊】

2023年度4次隊栃木県各自治体への表敬訪問

5年ぶりに帰国隊員表敬も同時実施

国際協力機構(JICA)は、2024年5月に栃木県から1名のJICA海外協力隊員を2023年度4次隊として派遣いたします。隊員は、任国への出発を前に、下記のとおり栃木県知事及び市長を表敬訪問いたします。

併せまして、開発途上国での2年間の活動を終えて2023年度に帰国したJICA海外協力隊員の帰国時表敬訪問についても同時に実施いたします。つきましては、貴社媒体にて、栃木県出身のJICA海外協力隊を県民の皆様にご紹介いただけましたら誠に幸甚です。

1. 表敬訪問日程

(敬称略)

表敬先	日時	表敬者
栃木県 知事 福田 富一	2024年4月10日(水) 14:00~14:15	同県 JICA 海外協力隊員 1名 高橋 眸 帰国隊員 1名 老松 茂輝
宇都宮市 市長 佐藤 栄一	2024年4月8日(月) 15:00~15:15	高橋 眸

2. JICA 海外協力隊 リスト

(1) 2023年度4次隊 派遣前隊員 1名

隊員区分	氏名	職種	国名	配属先
青年海外協力隊	高橋 眸	高齢者介護	モンゴル	ダルハン・オール県 老人開発センター

【活動内容と抱負】

知人に協力隊として派遣されていた方がいて、その方の話を聞き、私も世界を変えていけるような人間になりたいと思いはじめたことがきっかけです。学生時代に海外を訪れた際も、長期間滞在をしたことがなく、海外のコミュニティに浸り、コミュニケーションを育むことはありませんでした。協力隊の活動を通じて、現地でもより密に協力し合いながら途上国の発展に草の根レベルで寄与することで、その国の生活の発展に繋がっていきたくと考えています。

派遣先はモンゴルで2021年に初めて設立された高齢者施設です。高齢者の生活の質が向上するようにリハビリテーション、電気マッサージ、健康維持運動等のデイケアサービスを行っているとのこと、高齢者への介護支援や同僚に対して介護分野に関する研修を行う予定で日本の介護分野において、モンゴルでも取り入れることができれば伝えていきたいと思っています。

また、モンゴルで餃子づくりをしてみたいです。

(2) 2023 年度 帰国隊員 1 名

隊員区分	氏名	職種	国名	配属先
青年海外協力隊	<small>おいまつ</small> 老松 <small>しげき</small> 茂輝	小学校教育	パラグアイ	エロエス・デル・チャ コ 第 2 5 5 小学校
【活動報告】 主な活動は配属先の教師への授業補助と研修会と勉強会の開催でした。隊員経験を経て、自走して課題の解決を目指すことを通して、1 歩 2 歩とグローバル人材へと成長できたと感じています。学校文化の違いから赴任当初は困惑しましたが、異なる価値観を持った人と共に協力して仕事をするなかで、相互理解のために欠かせない「大切なものを知ろうとする態度」が養われました。現地ではパラグアイのもう一つの公用語であるグアラニー語を主に話す児童との関りがありました。授業はスペイン語が主な使用言語のため、困難を抱えながら勉強する児童への支援をした経験を、日本で日本語教師として外国人児童生徒の支援を行うことで日本へ還元する 1 つの方法として考えています。				

3. JICA 海外協力隊とは

JICA 海外協力隊は、日本政府の ODA（政府開発援助）の一環として、独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する事業です。「開発途上国の経済・社会の発展、復興への寄与」、「異文化社会における相互理解の深化と共生」、「ボランティア経験の社会還元」を目的としています。

日本国籍を持つ 20 歳～69 歳の方が対象となり、派遣期間は原則 2 年間。日本で培った知識や経験を活かし、開発途上国と国際協力の志を持った方々が、現地の人々とともに生活し、草の根レベルで開発途上国の抱える課題の改善・解決に貢献します。

詳細は、JICA 海外協力隊 Web サイトをご覧ください。

<https://www.jica.go.jp/volunteer/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 栃木デスク 田島 繁樹

TEL : 028-621-0777

（栃木県国際交流協会内）

E-mail : jicadpd-desk-tochigiken@jica.go.jp